

今こそ知りたい!

着床前診断PGT-A/PGT-SRの実践に必要な知識をまとめた書。

日本産科婦人科学会の特別臨床研究がいよいよスタートするにあたり、
着床前診断PGT-A/PGT-SRの実践に必要な知識をまとめた書。

①まず知っておくべきこと、②技術編、③臨床編、④トピックス、⑤Q&Aに分けて解説。

図表を多用し、わかりやすくをモットーに編集。

産婦人科医師、胚培養士、看護師、臨床検査技師、臨床遺伝専門医、認定遺伝カウンセラー
などの**入門書**として、また**患者さんへの説明資料**としても役立つ!

PGT-A/PGT-SR 実践ハンドブック

編集

京野 廣一

京野アトクリニック高輪/仙台/盛岡
理事長

遠藤 俊明

札幌医科大学産婦人科 非常勤講師・非常勤外来医師
エナ麻生ARTクリニック 生殖医療顧問

笠島 道子

京野アトクリニック高輪/仙台
ファミリークリニック東京
認定遺伝カウンセラー

目次

A 総論：PGT-A/PGT-SRにあたって、 まず知っておくべきこと

- 1 PGT-A/PGT-SRに必要な遺伝の基礎知識
— 減数分裂から腕間逆位まで
- 2 着床前遺伝学的検査でわかること
- 3 PGT-A/PGT-SRを始めるにあたって

B 技術編：生検から解析の実際

- 4 胚盤胞におけるTE生検・チューピングのプロトコールと実際
- 5 検体の取り扱い — 搬送から解析の実際まで

C 臨床編：事前説明から臨床の実際

- 6 患者への説明(遺伝カウンセリングとして)
- 7 TTLB短縮のための卵巣刺激法
- 8 ART laboの高い技術とPGT
- 9 PGT-A/PGT-SRで正倍数体獲得後、より生産率を高める着床検査
- 10 出生前診断
- 11 着床前診断後のフォローアップと出生児の長期予後

D トピックス

- 12 わが国/世界のARTにおけるPGT-A/PGT-SRの現状
- 13 niPGT-Aの可能性

Q&A

